

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成29年7月31日

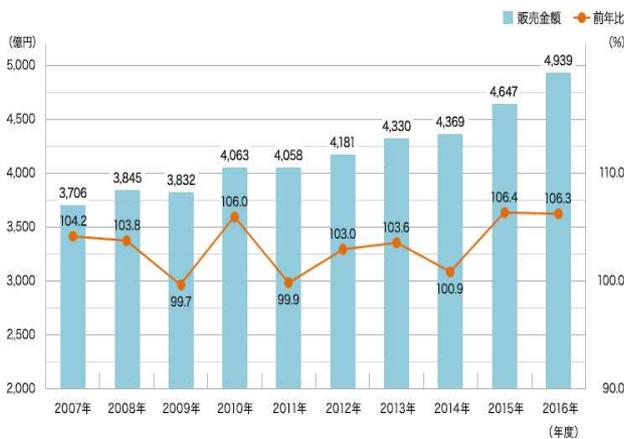
県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

梅雨も明け、一気に夏本番。夏に食べたくなるものと言えは？

今回は、アイスクリームに関する話題、データの紹介です

アイスクリーム類及び氷菓販売金額の推移



出典元：一般財団法人日本アイスクリーム協会

左のデータは、アイスクリーム等の販売金額の推移です。

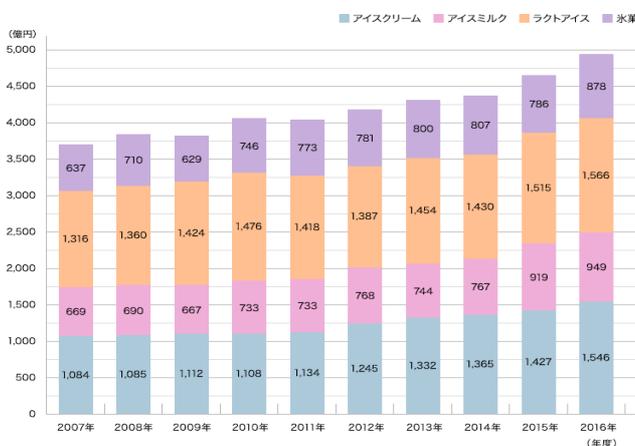
アイスクリームの販売金額は年々上がっていることが分かりますね。

ところで、一言で「アイスクリーム」と言っても、製品に含まれる乳成分の量によって4種類に分かれることを知っていましたか？

- ・アイスクリーム（乳固形分15.0%以上うち乳脂肪分8.0%以上）
- ・アイスマルク（乳固形分10.0%以上うち乳脂肪分3.0%以上）
- ・ラクトアイス（乳固形分3.0%以上）
- ・氷菓（上記3種類以外のもの）

パッケージに種類が表示されていますので、今度、確認してみてくださいね。

種類別販売金額の推移



出典元：一般財団法人日本アイスクリーム協会

種類別では、乳成分の量が比較的少ない「ラクトアイス」が最も売れており、その次は、乳成分が多く含まれてミルクの風味が豊かな「アイスクリーム」が売れているとは、少々意外ですね。

ところで、世界で最もアイスクリームが食べられている国を知っていますか？

昨年の国別の一人当たりの年間消費量は・・・

- | | | |
|----|----------|----------|
| 1位 | オーストラリア | 19.3リッター |
| 2位 | ニュージーランド | 15.5リッター |
| 3位 | フィンランド | 13.2リッター |
| 4位 | アメリカ | 13.1リッター |

なんとなくそんな感じがしますね。

日本は17位で、一人当たり年間で6.5リッター食べているということです。

右のグラフは、1世帯当たりのアイスクリームの支出金額の過去5年間の月別の推移です。

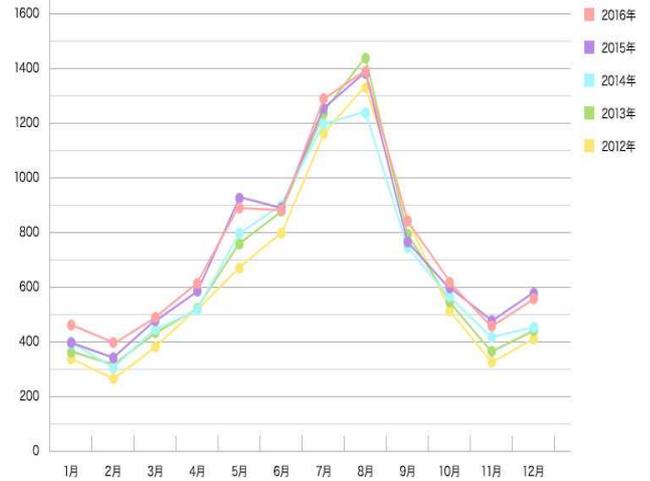
7月と8月の暑い時期にアイスクリームが最も購入されているのが分かりますね。

7月と8月の2ヶ月の支出金額だけで、年間の支出金額の約3割を占めます。

昨年の1世帯当たりのアイスクリームの年間支出金額は8,908円ということです。

皆様のご家庭はそれよりも多そうですか？それとも少なそうですか？

1世帯当たり支出金額の年別月別推移(1月～12月)



出典元:一般財団法人日本アイスクリーム協会

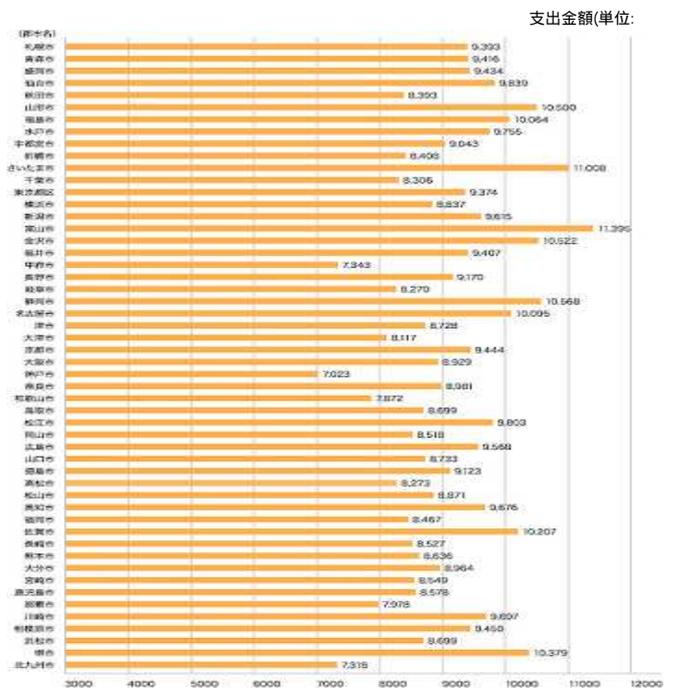
右のデータは、昨年の都道府県庁所在都市及び政令指定都市別の1世帯当たりの支出金額です。

九州や沖縄の県庁所在都市は軒並み高いと思いきや、意外と低いことが分かります。

熊本市の昨年1世帯当たりの支出金額は8,636円で、全国で36位でした。

熊本よりも涼しい北海道や東日本の都市が熊本市よりも支出金額が高いとは意外ですね。

都道府県庁所在都市等1世帯当たり支出金額(2016年)



出典元:一般財団法人日本アイスクリーム協会

アイスクリームは気温が22～23度を超えると売れるようになりますが、30度を超えると氷菓やかき氷が売れるようになり逆転します。

一般に、8月になると人間の体は基礎代謝がもっとも低い時期となり、体は産熱を抑えるため、低脂肪・低カロリーのものを好むようになり、乳酸飲料や牛乳など脂肪分の高い飲み物は、盛夏は売り上げが落ちることが分かっています。

ちなみに、支出金額上位の石川、福井、栃木、岩手等の夏場の平均気温は、20台前半で、アイスクリーム販売の適温となります。

定説として思い込んでいる事象についても、データを検証すると必ずしも正しくない場合があります。資料を見る際は、「データ」と「解釈」を分けて考え、「データ」から導き出した「仮説」の検証を繰り返すプロセスが重要です。

熊本県の統計情報は

http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、8月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先:熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話:096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp